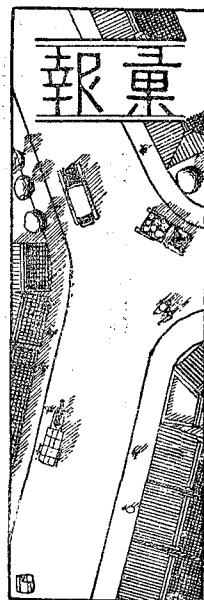


して無事に歸朝すべき事の希望を述べ盛會裡に散會した。



◎幹事の囑託

幹事丹羽七郎氏歐米に出張するに付、同氏不在中内務省道路課長代理と爲つた内務書記官岡田文秀氏に本會幹事を囑託した、同氏は曩に都市計畫局總務課長の職に在つた人で、道路殊に街路行政に關しては造詣が深い、爲に本會の受くる利益は渺少でない、公務多忙であらうが我が會の爲に一臂の力を垂れて貰ひたい。(た)

◎田中囑託の榮轉

本會事務囑託法學士田中省吾氏は、今回地方警視に任せられ長野縣に榮轉せられた。氏は岐阜縣の產、大正十三年京大法學部を首席で卒業した俊才であつて、頭腦明晰、文務省に於て査定された事を報告し、之に對する本會の行動に就て協議した、議事を終つて後丹羽幹事の送別宴を開き水野會長は本會を代表し、歐米各國道路行政の調査を依頼

一切、池田各理事等參集、田中幹事から先般内藏兩大臣に建議した北海道々路改良計畫の促進に關する経過を述べ道廳長官要求の豫算建設を主とし改良を從とする主義の下に内務省に於て査定された事を報告し、之に對する本會の行動筆亦豊かな人、本誌に於ては専ら法令欄を擔任し其の一問一答にも常に懇切明快なことは既に讀者の熟知せらるゝところである、時に亦論愚生の匿名を以て、警句金言を草さ

れたことも屢々であった。幸にして自愛せられ益々前途多幸あらむことを祈つて止まない。(小兵衛)

◎山梨縣の道路改良調査

本縣の國府縣道中には改良を爲すべき區間多くありて現狀に放任することは交通及產業上遺憾の點不尠豫て官民一般に其の改良を叫びつゝ在り、此儘放任することは縣の發展上障礙多きを以つて、此際此が改良の根本方策を確立すべく過般の定例縣參事會に之が調査費一萬三千圓の追加要求を爲したるところ、縣參事會に於ても異議ある筈なく満場一致を以て議決した、依つて土木當局は直に測量班を組織して實測に着手し本年通常縣會迄には改良方策の具體案を作製すべく努力中である。

(山梨縣報告主任報)

◎煙火の合圖で交通調査

宮城縣仙臺市

何れの都市も年々歲々その繁榮を増し、限りなく膨脹するることは免れぬもので、仙臺市の如きも過去十數年間の發達膨脹は著るしいものなるに拘らず、その道路は三百年前の貞山公時代その儘である、市の膨脹も自然のまゝに任せて何等秩序がなく、徒步交通者が大部分を占めた昔なら兎に角自動車、オートバイ、等の高速度の交通機關が發達するに隨つて危険となることは當然で、又無秩序の膨脹は將來ます／＼混亂を來たし、救ふべからざる状態に陥るのである、これ等の弊害を未然に防ぎ且つ將來都市の發展に適應せしむるのが即ち都市計畫であつて、仙臺市においては既に本年三月都市計畫區域が決定せられたが次に決定せらるべきは街路網である、この街路網を決定するには精確に交通の現狀を調査し將來の發展趨勢に鑑み學理的基礎の上に決定せらるべきもので只慢然と机上の畫策に據りてこれを決する如きは百年の計を誤るものである。街路網の決定上第一に必要なるは交通の調査であるが仙臺市においては未だ曾てこの種の調査が行はれたことがなかつたが、過般

縣と市とが協力し、全市に九十九ヶ所の調査箇所を置き各調査箇所には一人乃至三人の調査員を配置し午前五時より翌午前一時に至る二十時間における道路通行の徒步者、人力車、自轉車、自動車、荷馬車等の通行する類を調査したのであるが、調査員はこの事業に援助聲援する各町自警團員にして、胸間に緑色の徽章を付け、調査箇所を巡視する委員は緑色の腕章を附し緑色旗を掲げたる自動車で巡視する等誠に熱心なものがあつた。吾等は之に依り正確なる数字を擧げて、漸て大仙臺市實現の基礎となるものあるを信じ疑はない。(小兵衛)

◎廣島縣道路共進會の開催と其の狀況

廣島縣では道路愛護思想の普及宣傳に關して、本年三月諭告を發し次で同年四月其の趣旨の實蹟を擧ぐる爲道路共進會規則を制定公布したることは既報の通りであるが、爾來講演會の開催、ボスターの配布等郡市長の努力に依り色々實蹟を擧げて居るが道路共進會參加團體の狀況は縣下三

百九十八ヶ町村中共進會に參加せる町村は三百七十四ヶ町村で此内二百九十八ヶ町村は全町村を區域とする團體に於て參加し、其の他の七十六ヶ町村に於ても部落を地域とする參加團數百八十七團體を算し、縣下の大部分は本施設に共盟するに至つた、就中安佐、芦品、神石、甲奴等は全郡を擧げて加盟し高田、豊田、御調、世羅、沼隈、深安の諸郡亦殆ど全區域の參加を見た、之が道路延長は國府縣道八百二十七里中未改修の部分四十八里を除いた七百七十九里に對し參加團體の地域内に屬するもの五百三十六里で約七割弱は共進會參加に依りて修路作業が行はるゝ譯である、其の他町村道の參加七百七十九里を加ふるときは縣下の道路中一千三百餘里は參加團體の奉仕的作業に依り徹底的修補を加へらるべくしかも之等參加團體の作業狀況は其の態度頗る真摯で啻に團體員の勤勞のみならず地元の老幼婦女亦其の作業を助け或は犒勞の途を講ずる等鄉黨擧げて社會奉仕に服し其の美風感激すべきものが少くない、從て縣下道路の面目を一新することも近き將來にあるだらう。加盟

團體の修路作業状況を觀ると左の通である。(小兵衛)

◎一村を擧げて道路の修繕

世羅郡東村は從來より道路愛護心厚く、年々道路の修理を怠らざりしが、道路愛護に關する諭告を發せらるゝや吉宗村長は同村戸主全部を集め其の趣旨の傳達を行ひ、實行方法を示す所あり勤儉強調週間の第一日なる去る九月一日より二日間村民總出にて夫々道路大修繕を執行した。

同村今回の共進會出品道路は延長四里十六町餘にして、午前六時半鐘を合図に各所定の位置に集合し一齊に作業を開始し三百六

十二名の村民が炎熱を厭はず、溝渠の浚渫、路面の整理、雜草の抜取り、土砂の運搬を行ふ等献身的に努力する様は實に涙ぐましい狀況であつた、かくして東村の道路は面目を一新するにいたつたのである。

◎感激に満ちた努力奉仕

世羅郡に於ける模範青年團たる、西太田村青年團は同村軍人會と協力し、豫て郡内唯一の惡路たる改修町村道三里十六町を道路共進會に出品申込を爲す處ありしが、二百四十名の團員、在郷軍人會員總出動し、去月二日より五日間に亘り、毎日午前六時喇叭

を合図に道路の大修繕を執行したが、名にし負ふ惡路とて團員の獻身的労力にも拘らず、工事は進捗せず加ふるに打ち續く降雨に作業意の如くならざる團員の困苦容易ならざるものがあつた。

之より義同村民は道路の修繕を只に青年團、軍人會員の手のみに委すべきものにあらずとなし、七百五十人の戸主會員は一齊に應援に出動し其の總勢一千人にして作業に専心する状況、就中同村訓導岸青年團長、同加藤副團長等自ら其の伍に加はり鍬を探り活動する状況は、實に感激に満ちた状景であつた。

◎青年團軍人會の努力奉仕

安佐郡三入村軍人分會、同青年團は道路共進會に參加の爲、屢々整修、補修を施行した、過般更に在來の如き簡単な路面の手入と其の趣を違つて、僅かの縣道修繕工夫の手では容易に修理し得なかつた難工事の作業を行つた、即ち最近の豪雨に面土流失或は穿鑿したる箇所に共同の力を以て山土又は川砂を運搬し損傷部分を埋めて平坦に搔き均し、自動車及馬車の轆轤は之を埋没して交進を容易ならしめ、其他路側築石の小壊を復舊し路面及築石間雜草に至るまで排除する等、熱心着實に細大漏らさず徹底した大修理を行つたので、路面はアスファルトを敷いた如く美化されたが

之が爲村民は元より自動車、馬車に至るまで軍人、青年兩團體員の貴重なる勞力の奉仕に感謝してゐる。

◎道路愛護會の活動

道路愛護觀念を涵養し併せて道路共進會の主旨を貫徹する目的のものに生れた山縣郡八重町道路愛護會は八重町軍人分會員、青年團員を以て組織し、其の第一回事業として去月六七日の二日間午前六時より會員總出にて戸主會、消防組員等之を援助し町内を三部二十二班に分ち、第一日は縣道、第二日は町道全部の大修繕を一齊に施行したが、八重町を通ずる縣道は元より町内大小道路は全く面目を一新するに至り、引續き今後毎月一日之を實行する由である。

◎村民總出での縣道整理

安佐郡福木村在郷軍人分會、村青年團が縣道路共進會に參加しそれが第一回補修は村民總出にて九月一日行ふところありしが更に、其の第二回を同月十日前四時より行つた。當日は特に道路面の凹凸、出頭石の排除、道路兩端の築石出入等を修理する目的なので、玄翁、金棒、鶴嘴等を携へ役場吏員總指揮の下に一齊に着手し一同協同一致にて從業したので十一時過

ぎ全部の補修を終了したが之にて本村の道路も以前の面影はなく全く一新面目を施すに至つた。

◎熱心なる奉仕作業

双三郡川内村在郷軍人、青年團員等百八十名は道路共進會に參加した爲過般聯合して熱心に村内各道路の修理に從事し相當の成績を擧げたのであるが、期日迄には尙數回の補修をなす豫定であつて、やがては路裝も一新すべく村民は何れも感謝して居る。倘此機會に於て在郷軍人、青年團員等は將來此の種の社會事業には率先從事する旨申合せをなした。

◎面目一新せる道路

安佐郡深川村大字下深川村民、軍人會員、青年團員は道路共進會參加の爲、去月十四日前五時警鐘を相圖に各受持區域に集合し、村長並各會團長指揮の下に縣道一里半の大整理補修を行つたが、交通頻繁なる縣道を初め村道は路面凹凸し就中栗石多く通行の支障渺からざりしなつて之等を除去するに勉め、或は掘鑿し或は雜草を抜き、更に溝渠の浚渫をも完全に行ひたる後更めて荷車二十輛其の他運搬機具を以て砂利、眞砂土等を運搬し全路面を蒲鉾型に整理させた外道路の築石間にある草の排除及決壠部等

も遺憾なく復舊し、献身的に社會事業に奉仕したが爲、破壊部の非常に多かつた縣境も面目を一新し一般交通上誠に便利となつた。

◎道路愛護デーの設定

比婆郡にては道路共進會の開設を機とし、春秋二期に道路愛護日を設け、春は八十八夜、秋は彼岸の入りを愛護日と指定し郡下全町村ともに道路共進會に參加する事に決定し九月二十日の第一回愛護日には、共進會參加團體たる各町村の作事方法を一定し道路の維持保全に努め各町村青年團、在郷軍人分會、小學校等と協力呼應して、道路愛護に關する社會奉仕作業並愛護精神涵養のため、當日は郡下町村一齊に前記の各團體が活動し、比婆郡役所にては之が指導督勵のため各町村へ吏員を派遣した。

かくして作業終了後小學校に於て、道路愛護訓話なし、愛護作業を行はせ各戸一人以上出役の外在郷軍人會員、青年團員等出動して沿道竹木の切取り、路面の補修等何れも着實に愛護作業を行ひ路面の體裁を一變するに至つた。

尙郡内各戸に良道と惡道とを對照した、意匠圖に左の注意事項其の他を印刷した「道路を愛護せよ」の宣傳ビラを配布して大に道路愛護の觀念を鼓吹して居る。

お互に道路を愛護しませう

道路に雨垂や不潔の水を流さぬ様にしませう

道路の草や道路を掩うた木や竹を早く伐り拂ひませう

道路に牛馬車や其他邪魔物を置かぬ様にしませう

道路に石や塵芥を投げ棄てぬ様にしませう

橋や暗渠の水行に障りあるものは早く取り除きませう

（春の道路愛護デー八十八夜）

（秋の道路愛護デー彼岸入）

道路の側溝を掃除して排水を良くしませう

道路の掘込や橋の穴は早く直しませう

大雨の時は坂道に水切をして洗堀を防ぎませう

道路に崩れ土があつたときは早く取り除きませう

道路に接して住居する人は左右三十間以上常に注意して修理しませう、又水撒き雪搔きを怠らぬ様にしませう

道路はお互のものであるから共に良くして十分利にしませう

道路の作業は青年團やら軍人會や、其他町村一致して致しま

せう。

◎眞に優良道路

賀茂郡中切村縣道延長七百五十間は今回共進會參加道として義に在郷軍人會、青年團協力にて修補する處ありしが更に客月十五の兩日青年團員四十名は團長松本訓導指揮督勵の下に下水溝の浚渫、沿道兩側の除草、路面の鋪装等目醒ましき活動の結果縣技巧をして「近郷に其の類例を見ぬ優良道路となつた」と推賞せし

むるに至つた、同村は土質の關係上真砂土も容易に得られず、或は河底より擔ぎ上げ或は遠隔の地より車馬にて運搬する等、炎天下に於ける此の奉仕的勞役は非常なものであつた。尙村當局は之を慰むべく團員一同を青年會館に集合せしめ平吉村長より感謝の辭を述べ金一封を贈つた、尙松本團長は訓辭と併せて今後の方針につき二三協議し、將來は田植時と秋收時とを除く外毎月二回必ず手入を行ふことゝした。

◎宣傳ビラと宣傳標柱

世羅郡吉川村では大蘇進轉記念日の九月十五日在郷軍人會員、青年團員二百餘名は、今回道路共進會出品の村内縣道全部の大修理を斷行し、午前七時より午後六時迄此の間總て規律を守り他の

模範を示し其の作業の進捗ること一般衆人の驚異せる所であつた。尙道路愛護の宣傳ビラ一千枚を作成し村内各戸に配付し、又各要所に宣傳標柱を建て愛護の觀念を一層助長せしめたので道路も路傍雜草の刈取を勵行せしめ村道小路に至る迄修理の完備を期し、村内各道路とも面目を一新するに至つた。

◎太鼓の音や鼻

賀茂郡三津口町分會は義に社會奉仕事業の一端として本町道路改善に努め、道路共進會に協賛せる本町の事業をも應援すべく協議決定せるに基き去月十三日第一回道路修理作業を施行したが、現に在住者は一名も残らず、他行不在者は婦女を代理せしめ、總員百四十二にして規律正しく、太鼓の聲援と共に勇ましく大に作業を勵まし、宛も戰争の如き壯舉にて午後四時既定の作業を終了した。

◎各學校聯合して競争的に

御調郡向島西村にては各學校聯合して、去月十八日を「道路愛護デー」となし各學校長を初め男教員全部兒童約千名は一齊に、競争的に各自分擔區域の道路修理に從事したが折柄實地臨檢の高

橋村長は非常に感激し後に道改愛護團組織に關しても好響を及ぼすべく、一方教育上社會奉仕精神の體験をなさしめたるにより村民一般も多大なる感謝の意を表してゐる。

◎青年團の活動に表る計畫

智茂郡寺西村國道、縣道、町村道は共進會參加道とし先般來青年團に於て之が修理に關し畫策せる所ありしが、愈々去月十五日十六日團長磯部校長指揮の下に喇叭の相圖に各部署につき路面の補裝、除草等全く目醒ましき活動を爲し、爲に路面一新し眞に優良なる道路となつた、仍て引き続き二回奉仕をなす計畫であるが、今回の奉仕は村當局は勿論村民一般に感謝の意を表し、何等か方法を以つて本青年團を表彰すべく目下具體案攻究中である。

◎軍人と青年團聯合の奉仕作業

賀茂郡郷田村宇柏原を貫通せる吉川村より松川村へ通する道路に從來より郷内屈指の惡道にして、土質粘土なるを以て雨天の通行甚だ困難で、とりわけ自轉車の如きは擔いで漸く通り得る程度にして一般通行上不便を感する爲全部落、青年團が砂利の上置をとなり、在郷軍人と青年團員が協力して車十四臺に牛馬を使用し

て幅九尺の道へ二間に一荷宛砂利、眞砂土を運搬して搔均した爲め惡道一變して新設道路の感あるに至つた。

◎全戸出動の道路修繕

甲奴郡にては、本縣に於ける道路共進會參加出品すると共に、一般町民及軍人會、青年團員、學校生徒兒童に對し、道路愛護の宣傳を行ひ之が維持保全に努め、以て愛護精神並に社會奉仕の觀念を涵養しつゝあるが、一般民人も克く之に呼應し愛護に努めてゐる。從來に於ても春秋の日岸ニ季に於て、各戸は一齊に出役修繕に從事するの美風あり、本年は如上の意味に依り特に徹底を期すべく昨今各町村共修繕作業に努めてゐるが、就中上下町に在りては客月二十一日町内六百餘戸は一齊に出夫し、郡役所、警察署、土木課上下出張所、町役場等よりも夫々吏員出張指導の下に、縣町村道を始め通路全般の修繕を行つたが、町民は何れも奉仕的觀念を以て熱心に作業を續け、各路面は見るからに心地良く愛護の實を擧ぐる所があつた。

◎鐘を合團に道路の修理

豊田郡本郷町では近々開催せらるゝ道路共進會に參加したので數回行つて來たが、今回共進會參加道となつた爲大修繕を行ふ事となり、在郷軍人と青年團員が協力して車十四臺に牛馬を使用し

つたが、客月二十六日町内各部落に於ては戸主會在郷軍人、青年團、婦女會等各種の團體は寺院の鐘を合図に出動開始し、各區長の監督指揮の下に石垣の修理、栗石の埋没、砂利の運搬撒布、雜草の排除、泥土の除去、排水路の浚渫等熱心に從業し國縣町村道と共に路面一新して交通の便此の上もなく、當日出動の服装は何れも軽装にして各自鎌或は鋤等を携へ各所に集合せるさまは宛然百姓一揆其儘の觀があつた。

尙當日は農學校並に小學校の兩校の生徒、兒童も各受持教師の指揮指導の下に熱心に活動した狀は實に目覺しかつた。

◎縣道延長八百間

加茂郡内海路村縣道延長一千八百間は、共進會參加道として客月二十四五の兩日在郷軍人青年團總員三百名は協力して、分會長、青年團長を總指揮者とし、五區に分れ縣道規定の作業方法を標準とし、修路工夫の指導に依り下水の浚渫、沿道兩側の除草、路面の鋪裝等日醒ましき活動の結果千八百間の道路は眞に美事な優良道路となつた。殊に今回は第一回の事とて徹底を期すべく、日乃浦大泊部落の如き一里半を山越しにして參加し、向之原部落も溝中全部の應援あり、車輛五十臺にて大々的の活動をした。又指揮

者の命に従ひ作業中は各區域共連絡を取り、作業の易により相互に救助し眞に社會奉仕の實を擧げ、道路愛護の思想を徹底せしめた。此の奉仕的勞役に對し木本村長は金一封を贈つて其の勞を慰めた是を機とし尙各部落共今後の方針について協議を凝らし、農繁期を除くの外在郷軍人青年團交互に月一回宛手入を行ふ事に一決して解散した。

◎戸主會員の勞役奉仕

世羅郡廣定村青年團在郷軍人分會員は客月五日第一回道路の繕を爲せしが、同村民は其の行爲に感激し、戸主會員四百七十九人は去る二十九日より一齊に村内の縣道五哩二分、改修材道九哩八分合計十六哩の道路の大修繕を實行した。先ず全線を三十二班に分ち、各班に村會議員役場員等班長となり作業方法を指導督勵する事とし、午前七時寺院の鐘を合図に所定の位置に集合、寸暇を惜んで、誠身的に活動したが、道路の多くが急勾配なると最近改修された道路もあることゝて、一日にては其の半を終了するに過ぎず、翌日も引續き同様終日活動して郡當局視察員をして感歎の聲を放たしめる迄に理想的修理を行ひ之に因り村内道路の面目は全く一新した。